

平成25年12月24日

スタートアップ都市推進協議会の設立について

日時：平成25年12月23日（月・祝）10：00～10：30

場所：グロービス経営大学院東京校

スタートアップ都市づくりに共感する自治体が連携し、共同事業を共に構築して取り組みを進め、この動きを全国に広げていくことを目的に「スタートアップ都市推進協議会」を設立いたしました。以下は昨日行われました、設立総会の概要です。

—— 次 第 ——

1 開会

福岡市長より挨拶

2 出席者紹介

(1) 設立メンバー紹介

三重県、広島県、佐賀県、福岡市、千葉市、
横須賀市、浜松市、奈良市 以上8自治体首長

(2) 関係者紹介

北川慎介・中小企業庁長官

堀義人・(公社)経済同友会ベンチャー創造委員会委員長

3 議案

議案1 協議会の設立について

議案2 規約の制定について

議案3 役員の選任について

議案4 平成26年度事業計画について

4 その他報告事項

5 閉会

配布資料 別紙のとおり

(お問合せ先)

観光経済部 商工労政課 創業支援係

電話 0742-34-4741

スタートアップ都市推進協議会 設立趣意書

日本では本来、チャレンジ精神あふれる起業家が次々と生まれ、新しいものにチャレンジし、世界に誇る今日の繁栄を築いてきた。

しかし、「失われた20年」ともいわれ、長く閉塞感にとらわれてきた日本においては、リスクを取り、チャレンジする文化が失われ、米英に比べて半分以下の低い開業率が続いている。

今、日本経済は明るさを取り戻し、次のステップへの新たな一歩を踏み出した。

起業や新たな事業などの「スタートアップ」は、経済成長を実現し、大きな雇用創出効果をもたらすとともに、暮らしの中に新たな価値を創造するものであり、日本の再興には不可欠なものである。

日本再興への期待が高まりつつある今、スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む自治体が、地域の個性を生かしたロールモデルとなり、経済関係団体とも連携し、日本全体をチャレンジが評価される国に変えていくことをめざし、ここにスタートアップ都市推進協議会を設立する。

平成25年12月23日

—設立発起団体—

三重県	広島県	佐賀県	千葉市	横須賀市
浜松市	奈良市	福岡市		

スタートアップ都市推進協議会設立に当たっての首長イニシアティブ

～チャレンジできる日本へ～

本日、アベノミクスの第3の矢として日本の成長を牽引すべく集った我々は、以下の3つをアピールし行動を始め、先進的な取り組みによって全国にスタートアップを評価する機運を広げ、「チャレンジできる日本」の実現をめざす。

- 1 我々は、それぞれの地域において、地域の特性を生かして地域の力を結集し、スタートアップ都市の実現に取り組む。
- 2 我々は、多様な地域の資源や人材の相互交流により、イノベーションを起こし、スタートアップを生む。
- 3 我々は、日本の再興に向け、国家戦略特区制度などを活用し、スタートアップを阻害する規制の緩和や、スタートアップ企業への重点的な支援を求める。

平成 25 年 12 月 23 日

三重県知事	鈴木 英敬	広島県知事	湯崎 英彦
佐賀県知事	古川 康	千葉市長	熊谷 俊人
横須賀市長	吉田 雄人	浜松市長	鈴木 康友
奈良市長	仲川 げん	福岡市長	高島 宗一郎

スタートアップ都市推進協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、スタートアップ都市推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、スタートアップ推進に共感した自治体が連携し、共同事業の実施により、各自治体のスタートアップ企業を増やし、地域経済の活性化を目指すとともに、これらの活動を先進的な事例として発表することにより、全国のロールモデルとして日本を変えていくことを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は前条に規定する目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 協議会の開催
- (2) スタートアップ推進のための共同事業
- (3) 前2項に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事業

(構成)

第4条 協議会は、一般会員及び特別会員をもって構成する。

- 2 一般会員は、協議会の目的に賛同する地方公共団体で、総会において認めた者とする。
- 3 特別会員は、協議会の目的に賛同する者で、総会において協議会の目的のため特に必要と認めた者とする。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- | | |
|-----|-----|
| 会長 | 1人 |
| 副会長 | 2人 |
| 幹事 | 若干名 |
| 監査役 | 1人 |

- 2 役員は、総会において、一般会員の長の中から選任する。

(役員の仕事)

第6条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- 3 監査役は、協議会の会計を監査する。

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じたときは、その後任の仕事にあるものを充て、その仕事は前任者の残任期間とする。

(総会)

第8条 総会は、一般会員をもって構成する。

- 2 通常総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認める場合は、臨時総会を招集することができる。
- 3 通常総会は、事業計画、収支予算、規約等の改正その他協議会の活動に関する重要事項について審議する。
- 4 臨時総会は、特に必要とする事項について審議する。
- 5 総会は、一般会員の2分の1以上の出席をもって成立する。
- 6 総会においては、会長が議長となる。ただし、会長及び副会長が欠席の場合は、あらかじめ会長が指名するものが議長となる。

7 総会の議決は、出席者の過半数をもって決する。賛否同数のときは議長がこれを決する。

8 総会は、必要に応じて書面又は電子メールによる開催とすることができる。

(幹事会)

第9条 幹事会は、役員によって構成する。

2 幹事会は次の事項を議決する。

- (1) 会員の入会及び退会の承認
- (2) 総会で議決した事項の執行に関する事
- (3) 総会への付議事項の決定
- (4) 部会における部会長の選任

3 幹事会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めるとき。
 - (2) 幹事の過半数から、幹事会の目的を記載した書面により、招集の請求があったとき。
- 4 幹事会は、幹事の過半数の出席がなければ、開会することができない。なお、委任状の提出があるときは出席したものとみなす。
- 5 幹事会の議事は、出席した幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 6 幹事会に出席できない会長及び幹事は、書面をもって会長又は自らの団体に属する者又は他の幹事に、議決権の行使を委任することができる。
- 7 幹事会を開催するいとまのない場合は、書面による表決により、幹事会の議決に代えることができる。

(部会)

第10条 協議会に具体的な事業の推進を図るため、必要に応じ部会を設けることができる。

- 2 部会の設置については会長が別に定める。
- 3 部会の運営については、部会で定める。
- 4 部会は、その活動状況について、総会に報告する。

(事業年度及び会計年度)

第11条 協議会の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(経費)

第12条 協議会の事業を行うために必要な経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 協議会の会費については、別に定める。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

付則

1 この規約は、協議会設立の日（平成 年 月 日）から施行する。

スタートアップ都市推進協議会 会員名簿

自治体名
三重県
広島県
佐賀県
千葉市
横須賀市
浜松市
奈良市
福岡市

(平成25年12月23日現在)

スタートアップ都市推進協議会 役員一覧

役員案	自治体名	役職	氏名
会長	福岡市	市長	高島 宗一郎
副会長	広島県	知事	湯崎 英彦
副会長	横須賀市	市長	吉田 雄人
幹事	三重県	知事	鈴木 英敬
幹事	千葉市	市長	熊谷 俊人
幹事	浜松市	市長	鈴木 康友
幹事	奈良市	市長	仲川 げん
監査役	佐賀県	知事	古川 康

(平成25年12月23日現在)

スタートアップ都市推進協議会 平成26年度事業計画

(1) 推進協議会の開催

- ・スタートアップ都市推進協議会の活動方針についての審議
- ・各会員間の情報共有

(2) 国への提言活動

- ・国家戦略特区制度などの活用や規制緩和、スタートアップ企業への支援などについて、国に対し提言活動を行う。

(3) 小中高校生・大学生向けチャレンジマインド醸成教育

- ・小中高校生・大学生のチャレンジマインドを醸成するため、経済同友会などと連携し、チャレンジマインド教育の実践例を紹介していくとともに、講師となる起業家情報を提供

(4) マッチング事業

- ・コーディネーターの配置や、マッチング交流会の実施により、各地域のベンチャー企業と大企業、海外の若手経営者、投資家等とのマッチングを促進する。

(実施概要)

①プロモーション資料作成

- ・各自治体からベンチャー企業のリストを集約し、プロモーション資料を作成

②コーディネーターの配置

- ・大企業や投資家にネットワークを持つ専門家にコーディネーターを依頼。東京の連携先企業・団体の集約を行うとともに、プロモーション資料を活用して、各自治体ベンチャー企業の営業・プロモーション活動を実施
- ・また、地方での活動を検討している首都圏の起業家に、U/Iターンのとしての地方展開を薦める

③交流会の開催

- ・各地域の自治体、ベンチャー企業、人材と大手企業、海外の若手経営者、投資家などとのマッチング交流会を関東地区で開催

④交流会参加企業へのフォロー

- ・交流会終了後、参加企業に対しフォロー訪問を行い、更なるマッチングを図る

(5) スタートアップ都市推進に関する事業の検討

- ・ファンド連携、U/Iターン、共同インキュベート等
- ・経済同友会など経済団体のアドバイスを得ながらのスタートアップ施策の検討

まらっ都 奈良

元気★ときめきステーション

奈良のスターを育成する起業家支援施設

平成24年10月1日、奈良の中心市街地のと真ん中に、起業家支援や商業振興を担うまちづくりの拠点施設「まらっ都・奈良」がオープン！株式会社まちづくり奈良が、施設の管理運営を行います。

施設コンセプトは「**時めくヒト、ときめくモノ・コトが集う場**」。起業家にとっては、将来まらっ都と輝くために力をつける場(=時めく場)。消費者にとっては、まらっ都と光る商品・サービスと出会う場、そして住民の皆様にとっては、心ときめく交流の場(=ときめく場)になっております。

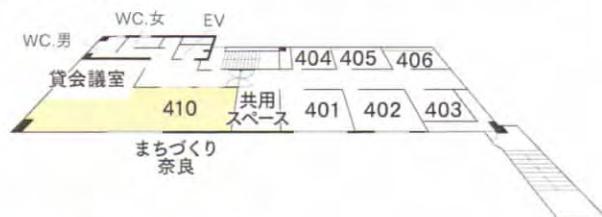
施設は4つのフロアで構成されます。1階には衣料品や雑貨等の物販業、飲食業を営むお店が10店舗、4階には情報通信業や若者・女性の就労支援に取り組む事務所が入居し、入居起業家が将来奈良のスターとなるべく経験を積みます。3階には奈良県中小企業診断士会、奈良デザイン協会、株式会社TABI・SQUAREが入居し、起業を強力にサポートします。2階はイベント等を行う場として広く開放し、交流を促します。フロア名称は、4階から順に、**きぎょう**、**らんくアップ**、**つながり**、**ときめき**と名付けました。

奈良市の中心部に挑戦者が集い、スター起業家として成長し、将来中心市街地で活躍する(時めく)ことで、まちが活性化する(ときめく)。株式会社まちづくり奈良は、まらっ都・奈良から、「ときめき」をつくり出してまいります。



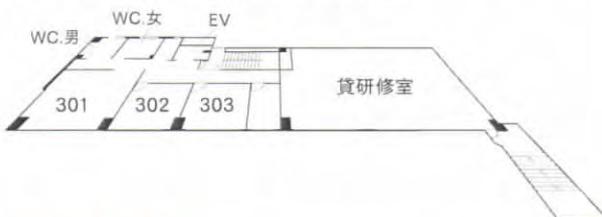
4F きぎょうのフロア

きらめくアイデアを持ったアーリーステージの起業家が、ビジネスの経験を積みながら、将来、奈良のスター起業家となって時めくべく力をつける場。



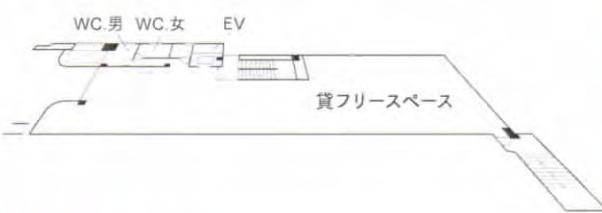
3F らんくアップのフロア

起業支援者による経営相談、デザイン指導、メンタリング等のサポートが受けられ、起業家がランクアップする場。



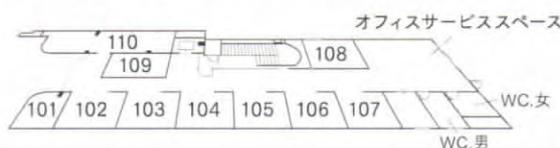
2F つながりのフロア

起業家・起業支援者・事業者・市民などが、セミナー・展示会等のイベントを通じて交流し、つながりを深めることで、ときめく“化学反応”が起こる場。



1F ときめきのフロア

きらめくアイデアを持ったアーリーステージの(商業)起業家が、店舗経営の経験を積みながら、将来、奈良のスター起業家となって時めくべく力をつける場。また、店舗を訪れる消費者が、まらっ都と光る商品・サービスに出会い、心ときめく場。



好きなまちで仕事を創る
in 奈良

奈良なら、ぜひ！ の仕事をつくる起業家募集。

好きなまちで仕事を創るin奈良 2013

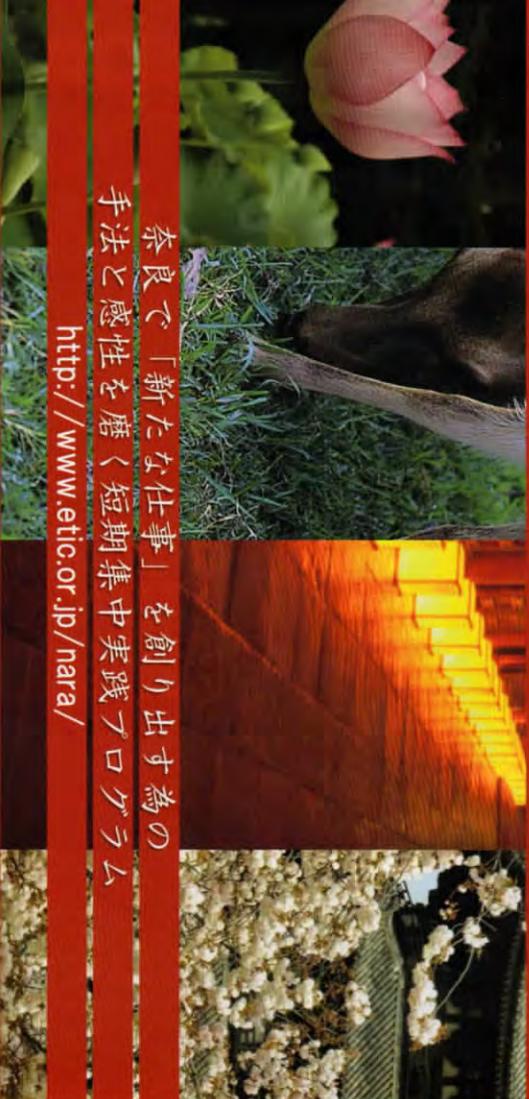


11月25日エントリーメット！

起業編 / 課題解決編

奈良で「新たな仕事」を創り出す為の
手法と感性を磨く短期集中実践プログラム

<http://www.etic.or.jp/nara/>



概要

実施時期：2014年1月～2014年3月
対象：奈良在住者、奈良出身者、奈良に縁のある方、奈良に思い入れのある方
起業編・奈良で自ら起業したいと考える方
課題解決編：自らのスキルや経験、問題意識で奈良の課題解決に挑戦したいと考える、3年以内にUNブローンを考える方
定員：起業編5名 課題解決編6名
参加費用：21,000円（※交通費・宿泊費、食費等は自己負担でお願いします）

スケジュール

- オリエンテーション 2013年12月20日(金) @ 東京
- ファービルワーク① 2014年 1月11日(土)～1月13日(月・祝) @ 奈良
- 研修会 2014年 1月19日(日) @ 奈良 or 東京
- ファービルワーク② 2014年 2月15日(土)～2月17日(月) @ 奈良
- 最終報告会 2014年 3月 8日(土) @ 奈良

実施期間3ヶ月で「奈良ならではの」と「あなたならではの」を掛け合わせ、
具体的に仕事を創り出します。

特徴

- ① 奈良の仕掛け人との意見交換(ファービルワーク)
奈良の魅力と可能性を体感しつつ、抱える課題を把握しながら、新たな可能性(ビジネスチャンス)を見出します。
- ② 起業家の集まる地域
「プロジェク」の実施の舞台である奈良は、古都であると同時に「チャレンジ」の場も多くある、起業家支援の文化が育まれている、歴史と挑戦が共存する場所です。
- ③ 次へ繋げる為の短期集中実践
課題を整理し、実現性や社会性の高い事業プランを仕上げ、終了後には更に次のステップを目指します。

● 起業編 ●

奈良の資源や、ニーズを理解する中で、自身の事業プランを立案、起業を具体的に考えていきます。多くの先輩起業家や金融機関、自治体との意見交換を通じて奈良という地域に貢献していく事業プランを試し、創業への第一歩を踏み出します。

● 課題解決編 ●

奈良の地場産業経営者から、自社の事業を通じた地域の課題解決や、経営者の次の一手に向けた挑戦に必要な「お題」の解決に向けたアクションを提案します。短期実践型プログラムを通じて、奈良で「新たな仕事」を創り出す為の、手法と感性を磨き自身の提案力と実践力を獲得します。

WEBサイトよりイベントリートを行ってください。詳細も併せてWEBサイトをご覧ください。

<http://www.etic.or.jp/nara/>

「エントリー」より基礎情報を入力いただいた後、エントリーシートが条件されたメールを送付致します。
エントリーシート作成後、ご提出が完了となりますと正式にエントリーとなります。



facebookでも「プロジェク」や奈良に関する情報をお伝えしていきます。是非「いいね！」してください。
facebook: <http://www.facebook.com/ETIC.NARAproject>

2013年
11月25日
エントリー
メット！！

主催：奈良市 ● 共催：株式会社まちづくり奈良 ● 事務局：NPO法人ETIC(エティック)

本プログラムは【奈良市起業家支援事業】を活用し開催しております。

【問い合わせ先】

NPO法人ETIC(エティック) 担当：林、塚口、西尾
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-5-7 APRIL CHAMBER 4-A-08 TEL: 03-5799-2315 / FAX: 03-5794-2316
Mail: challenge-community@petec.or.jp facebook: <http://www.facebook.com/ETIC.NARAproject> twitter: @gohs_prj@petec

参考：昨年度「アイランドワーク」訪問先（五十音順・敬称略）

- 有限会社 魚万商店
- 株式会社 きた山中谷堂
- 株式会社 エSankaku
- 健一自然農園
- シーエイト株式会社
- 株式会社 TABI・SQUARE
- 旅と暮らしの玉手箱 フルコト
- 財団法人たんぼほの家
- 奈良県立図書館情報館
- 奈良市観光協会
- 株式会社 奈良シテイエコム
- 奈良ソムリエの会
- 奈良東京2030年会
- NPO法人ならゆらし
- 南都 十輪院
- ヒューマンハルティージャ株式会社
- ホテルサンルート奈良
- 株式会社 RAHOTSU



企画した事業計画、課題解決案をプレゼン実践する場として最終報告会を行います。

事業プランのシヨートプレゼンテーション、その後、事業プランの一部を切り取ったミニプランの実践を行います。実践後は、ミニプラン参加者や他の来場者とともに振り返り、意見交換を行い、終了後に対しても具体的なネクストステップを見出します。



■参加動機

震災をきっかけに自分のWEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、や地域に役立つこと、また、WEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、や地域に役立つこと、また、WEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、

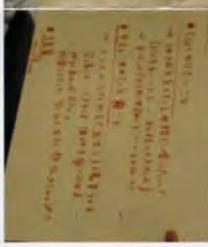
■プログラム終了後

プログラムの間に「土産もの」に対して多くの人を巻き込む仕組みのある「画像コンクッキー」を企画構想。プログラムの後は奈良への往來を続けながら商品開発を進め、終了半年後に奈良市内に移住し事業の具体化に向けて活動中。



◆最終報告会

地域に足を運び、その地で事業を展開している方々の話を聞き、ビジネススキームを考える「ファイナルワーク1、2」と、事業プランを練り直していき「ブラッシュアップ研修」の組み合わせによって、課題を整理し、実現性や社会性の高い事業プランを仕上げていきます。



■参加動機

プログラムの間に「土産もの」に対して多くの人を巻き込む仕組みのある「画像コンクッキー」を企画構想。プログラムの後は奈良への往來を続けながら商品開発を進め、終了半年後に奈良市内に移住し事業の具体化に向けて活動中。

■参加動機

震災をきっかけに自分のWEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、や地域に役立つこと、また、WEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、



プログラムメニュー ※都合により、スケジュールの変更の可能性がございます。

オリエンテーション 12/20(金)	1日目	2日目	3日目	研修会 1/19(日)	1日目	2日目	3日目	最終報告会 3/8(土)
オリエンテーション (対面or電話)	企業・団体等 ヒアリング	企業・団体等 ヒアリング 企業訪問 ヒアリング	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	企業訪問 ヒアリング 自由	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	企業訪問 ヒアリング 自由	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	プレゼン ↓ 実践
起業編	企業・団体等 ヒアリング	企業・団体等 ヒアリング 企業訪問 ヒアリング	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	企業訪問 ヒアリング 自由	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	企業訪問 ヒアリング 自由	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	
課題解決編	企業・団体等 ヒアリング	企業・団体等 ヒアリング 企業訪問 ヒアリング	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	企業訪問 ヒアリング 自由	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	企業訪問 ヒアリング 自由	自由 企業・団体等 ヒアリング 自由	

共通プログラム
起業編専用プログラム
課題解決編専用プログラム
自由行動

◆研修会

実際に奈良で新たにビジネスを立ち上げた先輩起業家、奈良を元気にしようと盛り上げる仕掛け人との意見交換も行います。奈良の魅力と可能性を体感しつつ、この地域が抱える課題をしっかりと把握しながら、新たな可能性(ビジネスサイズ)を見出し、事業計画立案にも活かしていきます。座学や単なる観光だけではわからないリアルな地域の姿や新たな手法を、体感しながら学んでいただくことができます。



■参加動機

プログラムの間に「土産もの」に対して多くの人を巻き込む仕組みのある「画像コンクッキー」を企画構想。プログラムの後は奈良への往來を続けながら商品開発を進め、終了半年後に奈良市内に移住し事業の具体化に向けて活動中。

■参加動機

震災をきっかけに自分のWEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、や地域に役立つこと、また、WEBSAを強化して地域に役立つこと、また、自分が好きであったことから今回応募したいと考えようになったこと、

第1期参加者

エントリー者：43名
参加者：10名
男女比率：男性：女性 = 5：5
居住地：奈良県内：県外 = 3：7
出身地：奈良県内：県外 = 4：6
修了後起業：1名
修了後移住者：3名
修了後起業準備者：3名

ヒアリング先
■企業経営者、団体、金融機関、行政関係者、NPO法人 等 計18箇所(40名程)
■20代～60代 66名

最終報告会来場者
■20代～60代 66名



◆第1期

3/12